



びーのびーのは、子育て中の親子がいつでも立ち寄れるほっとできる場所です。

びーのびーの 通信

2008年 10月号

NO. 100 ■ NPO 法人びーのびーの事務局 ■

〒222-0037 横浜市港北区大倉山3-57-3



TEL045-540-7422 FAX045-540-7421

URL <http://www.bi-no.org>

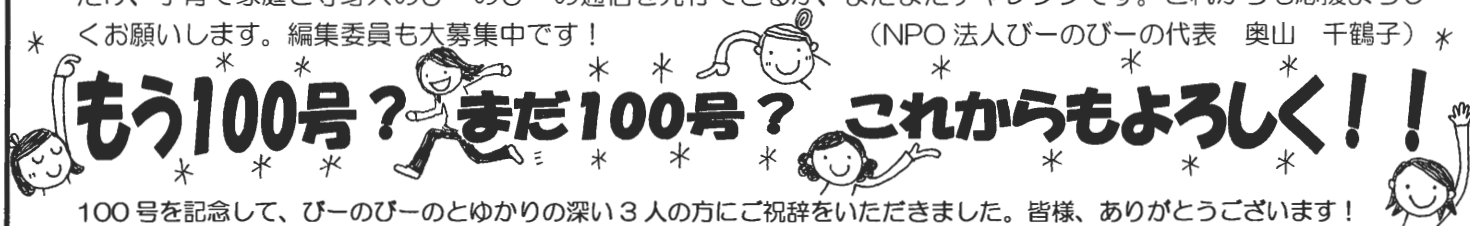
たやけこやけ♪思いっきり靴を飛ばしました。明日は晴れです。

***平成12年4月号**が発行されてから8年半、びーのびーの通信はこの10月号で100号を迎えることができました。その間にデザインは何度か変わり、編集スタッフも少しずつ変わりました。紙面をながめていると、その時々でのびーのびーのの課題意識、スタッフの思い、ひろばの様子が目に浮かんできます。毎月、発行時期を迎えるたびに、事業の振り返りと計画を立てているようなものでした。またびーのびーの通信には、ひろばの風景やグループ保育の風景が載っています。赤ちゃんや小さい子のいるくらし、子どもたちのまなざしや行動そのものがとにかく面白い！って伝えられればいいな、と思っています。

作成には多くのスタッフ、ボランティアが関わってくれています。季節のキャッチフレーズを考えてくれる人、各事業担当者からの報告、発送を手伝ってくれる人。イラストも会員さん含めて多くの方が描いてくれました。また、子育て支援の気持ちと共に「伝言板」に情報提供して下さる地域の皆様にも感謝したいと思います。「びーのびーの通信は、びーのびーの“顔”でもあり、スタッフ、ボランティアの交流の場でもあったのだ！」と改めて気がつきました。

編集は子育て中の親たち。子育てにちょっと元気が出ない日、落ち込む日もあるけど、そんな日常が大事。どれだけ、子育て家庭と等身大のびーのびーの通信を発行できるか、またまたチャレンジです。これからも応援よろしくをお願いします。編集委員も大募集中です！

(NPO 法人びーのびーの代表 奥山 千鶴子)*



100号を記念して、びーのびーのとゆかりの深い3人の方にご祝辞をいただきました。皆様、ありがとうございます！

びーのびーの通信100号の発行、おめでとうございます＆ご苦労様でした！
1999年に創刊した情報誌「あいっ！」の取材で、奥山さん&原さんに出会ってから、気がつけばもう9年が経ちました。あの頃まだ2人は「ひろばの場所探し」をしていたのを、懐かしく思い出します。

先駆けとしていつも注目を浴びる「びーのびーの」の、「顔」ですものね、通信は、様々な変革を経てなお、走り続ける『びーの魂』をこれからも世の中に発信してください。編集スタッフのみなさん、頼んだよ～。

(NPO法人まんま 理事長 金子美津子)

びーのびーの通信100号、おめでとうございます。たくさん目と手で協力して作られ、地域みんなに届けられているんですね。まちのあちこちで見かけます。紙面は細かい所までいろんな心遣いを感じられます。子育ての楽しさの伝わる記事とステキな挿絵、厳しい現実を見据えて一緒に取り組もうとする姿勢が伝わる鋭いコメント。子どもたちが育つ人のつながりを取り戻し、創りあげるために、期待しています。200号へスタート！ですね。

(港学舎・コミバス市民の会
・NPO 法人まいんどくらぶ 入江勝通)

祝100号おめでとございます。いつもびーのびーのから送っていただく通信を楽しみに拝読させていただいています。この通信を8年前から発刊されていること、本当に素晴らしいことと感服しております。たくさんの子育て中の親たちの想いに力を注ぎ、地域に根ざした活動をとともに私たちも汗をかきながら邁進していきたいと思えます。これからも「子育て」にスポットライトを照らし続け、ゆるぎない想いを大事に進んで行きましょう♪

(NPO法人 子育てネットくすくす
理事長/子育て支援総合コーディネーター
草薨 めぐみ)

おやこの広場
びーのびーの



ひろばの風景



8月最後の金曜日。夕刻、ひろばは恒例の夕涼み会で大賑わい。ふとお隣さんを見ると、何やら立派な竹製流しそうめん装置がセットしてあるではありませんか。興味深げに見つめるわたしたちに「どうぞ食べに来てください〜」とお隣さんが声をかけてくれました。すると「待ってました」とばかり箸を片手に駆けよる子どもたち。そうめん争奪戦は押し合いへし合いのそりゃもう大騒ぎに。けれど、どんなにそうめんが飛び散ろうと、装置が何度も落ちてしまおうと、「大丈夫ですよ」と気持ちよくまた装置を調整してひたすらそうめんを流し続けてくれたお隣の皆さん。ほんとにほんとにありがとうございました。びーのびーのはこういう地域の皆様の温かいお気持ちに支えられているのだなあ、とあらためて感謝しました。とはいうものの、これ以上好意に甘えすぎても・・・と、数日後、今度はひろばで流しそうめん会を開いたのであります。

ひろば利用案内

<入会金>・・・1000円
1ヶ月フリーパス・・・2100円/月
1回利用料・・・300円/回
マタニティ利用料・・・200円/回
ピジター利用料・・・500円/回

- ◆0～3歳の子どもが対象です。
- ◆ひろば見学は、初回のみ無料です。
- ◆きょうだいで同時にひろば利用される場合、2人目以降半額。(6ヶ月未満は無料)ただし、下のお子さんは上のお子さんのひろば卒業と同時に正規料金となります。
- ◆ひろば利用料は、びーのびーのの運営、維持費として活用させていただいています。

※入会金は、1家族初回のみ。
のちにきょうだいが入会の場合は不要。

【開館日】
月・火・木・金 9:30～16:00
水曜日 13:00～17:00

【休館日】
土曜日・日曜日・祝日
年末年始・特別休館日



10月4日(土) 10:30～14:00 バザー&親子フリマを開催します

びーのびーのでは、上記の日程でバザー&親子フリマを開催します。子ども服・おもちゃ・生活雑貨・ハンドメイド小物などなど。掘り出し物が見つかるかも・・・。軽食の販売もありますので親子でぜひ遊びに来てね。

■バザーにおうちで眠っている品をご提供ください。ただし洋服は秋、冬物のみ。壊れていたり汚れのあるもの、持ち主の名前のついてあるもの、またぬいぐるみ・人形類・本はご遠慮ください。

■雨天の場合、フリマは中止。バザーのみびーのびーの内で行います。

※この収益はびーのびーののひろば維持と環境整備にあてさせていただきます。

※フリマの出店は締め切らせていただきました。



楽しかったね!夕涼み会



8月29日の夕涼み会。万全の体勢で参加できるように息子と二人でたっぷりお昼寝をしてからいざ、びーのびーのへ。到着すると甚平や浴衣姿の子もいて、プチ縁日のようでした。輪投げ、ゼリーすくいなどゲームに夢中の子どもたちはもちろん、おしゃべりに夢中のママたちも皆イキイキしていました。盛り上がったのはスイカ割り。何度もポコポコ叩く子や目隠しをして棒で探りながら進む座頭市くん(?)、大きいお兄ちゃんがパッコーンと思切りスイカを叩く姿は気持ちよさそうでも私もやりたかった。ストレスをスイカに!? 部屋の中ではママたちの持ち寄りのお料理がずらりと並び、すっかり目を奪われた私はテーブルの下に入り込んで遊びながら食べている子どもたちを見張るフリをして真正面を陣取ってパクパク。手料理のレシピを教えてもらうのも楽しみのひとつです。花火とデザートで夕涼み会は終了。帰りはあいにく大雨となり電池の切れた息子を担いで千鳥足で帰ることになりましたが、肩に担がれた息子が半分眠りながら小さな声で『ママ、楽しかったね。』と言ったのが印象的でした。

(親子ボランティア 坂井)

親子ボラと会員ママのつぶやき

“パパ命”の我が娘。パパがお休みの日には姿が見えなくなる度に慌てて探し回り、外出先では号泣する始末。そして私の方はというと、いなくなっているのも気付かない様子。時々真剣に悲しくなるけれど、パパは自分の時間の9割を娘と一緒に過ごしてくれ(残りの1割は競馬関係)、その間私はスムーズに家事をしたりゆっくりお茶が飲めたりできるので、本当に感謝しています。そんなパパは週末になると娘と一緒に競馬新聞を広げ、「どの馬がくると思う?」と指差しができるようになったところから予想させています。もちろん、当たりません・・・。(涙)宝くじが当たるのとどっちが早いか見物です。

会員千尋ちゃん(1歳10か月)のママ



グループ保育の風景



長い夏休みも終わり、『おはよう!』と、元気よくゆーのびーのに入ってくる子どももいれば、泣いて後ずさりしてしまふ子どもも…(^_^)。でも大丈夫!すぐにゆーのびーのの雰囲気を出して自分なりに遊んでいました。子どもはスゴイ!!と、ちょっと感動。公園では水道から離れず服がビショビショになっているのも気づかないくらい夢中で水遊びしている子や、一生懸命花摘みをする子、滑り台をずっと滑っている子 etc…一人ひとりそれぞれの遊び方で楽しんでいました。その中で子ども同士の会話もちらほら。お互いの名前を呼び合ったり、ここそとお話をしたり、仲間意識が出てきたのかなあ。。。どんどん大きくなっていくゆーのびーのの子どもたち。これからもいっぱい、いっぱい楽しいこと見つけて遊ぼうね!と、久しぶりに子ども以上に楽しんでいる自分がいました。(Y)

■4日(土)10:30~14:00 バザー&親子フリマ
雨天の場合フリマは中止、バザーのみひろばで行います。

■21日(火)10:00~11:30 子育て相談日
臨床心理士の伊志嶺美津子先生が子育ての中で出会う不安や心配な事を一緒に考えて下さいます。

■23日(木)13:30~ 赤ちゃん体操
赤ちゃんとゆったりと優しく触れ合いながらの体操です。体操の後はお母さんのためのリラックスタイムもありますよ。
参加費:300円 要予約:10組

■27日(月)10:30~11:30 ベビーマッサージ
女性鍼灸師の小林規智子先生によるオイルを使わないマッサージです。ママも赤ちゃんもゆったり気分になれますよ。
企画参加費:400円 要予約:8組

☆水曜日の開館時間は13時から17時です。
☆隔週木曜日午前中は助産師がいます。お気軽にご相談を。10月は2日、16日、23日、30日を予定していますが、都合により不在の場合もあります。ご了承ください。
☆一般参加の場合、ひろば利用料として500円別途いただきます。

10月 Calendar

月	火	水	木	金
		1 13時開館	2	3
10/4 バザー &フリマ				
6	7	8 13時開館	9	10
13 体育の日	14	15 13時開館	16	17
20	21 子育て 相談日 10:00~	22 13時開館	23 赤ちゃん 体操 13:30~	24
27 ベビー マッサージ 10:30~	28	29 13時開館	30	31

10/17~19 コミュニティバス試運行します!

だれもが安心して気楽に町に出て、ちょっと足をのばす時に乗れる小さなバス、菊名・大倉山・新横浜・篠原を循環するコミュニティバスを市民の力で実現しようという運動が進んでいます。試運行ルートでは、菊名・篠原方面で乗車し、どろっぷの前で停車、帰りは新横浜を経て、乗った所へ帰れます。この小さなバスが実現すると、町中での移動がずっと楽になります。すでに市民施設の利用者アンケート調査を行い、10月17~19日に実際にバスが走る試運行をします。くわしくは、リーフレット「コミュニティバスがコミュニティをつくる!」をご覧ください。
(お問い合わせ先 コミバス市民の会 清水080-3458-8454)

港北区民まつり

たくさんの模擬店や、キャラクターショーなどもある盛大なお祭りです。びーのびーのの駄菓子屋さんやゲーム屋さんも出店します!

日時:10月18日(土)
9:00~16:00
場所:新横浜駅前公園(新横浜駅下車徒歩7分、日産スタジアム手前の公園)

びーのびーのの活動って？

NPO法人びーのびーのは、地域で共に育ち合う子育て環境を目指して、港北区区内に拠点を置き事業を展開しています。また、各拠点につどう人とのつながりを大切にしつつ、さまざまな連携を図りながら地域への発信をしています。

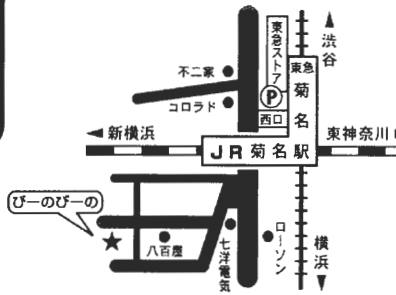
拠点

親子のつどいの広場事業 おやこの広場 びーのびーの

◆横浜市社会福祉協議会「親子のつどいの広場事業」

2000年4月開設。商店街の空き店舗を借り上げて、子育て当事者で立ち上げた子育てひろば。利用者である会員やスタッフ、ボランティア、地域の人たちと共に、子どもの遊びや育ちを見守り、出会えるひろば。子どもも大人も居心地の良い居場所づくりを目指して取り組む。

<http://www.bi-no.org/>



〒222-0021
横浜市港北区篠原北 1-2-18
TEL 045-439-7447
FAX 045-439-7448
◆開館時間◆
月・火・木・金 9:30～16:00
水曜日 13:00～17:00
◆休館日◆
土曜日・日曜日・祝日・
年末年始・特別休館日

東急東横線・JR横浜線菊名駅西口より徒歩 2分

港北区地域子育て支援拠点 どろっぶ

◆港北区地域子育て支援拠点委託事業

「学生によるわくわく子育てサポーター」
「港北区子育て応援メールマガジン ココめ～る」

2006年3月開設。0歳～6歳までが登録。横浜市次世代育成支援行動計画「かがやけ横浜子どもプラン」における1区に1つの支援拠点モデル事業として開設。5つの要綱(親子の居場所事業/相談事業/子育て情報の収集発信事業/ネットワーク事業/人材育成事業)を総合的に取り組むための拠点として運営。

<http://www.kohoku-drop.com/>



東急東横線大倉山駅徒歩10分
または市バス41系統川向町行き「観音前」下車

〒222-0037
横浜市港北区大倉山 3-57-3
TEL 045-540-7420
FAX 045-540-7421
◆開館時間◆
火～土曜日 9:30～16:00
◆休館日◆
日曜日・月曜日・祝日・
年末年始・特別休館日
◆登録料・利用料◆ 無料

事業

◆預かり保育事業「ゆーのびーの」

今年度は2～3歳児のグループでの預かりを、おやこの広場びーのびーので水曜日の午前中に実施。在宅家庭支援に必要とされる幼児期の預かりへのニーズに対応する。預かりを通じて親との信頼関係を築き、地域からの理解を得ながら活動。

◆子育て関連情報の編集・制作・販売

- ・広報紙の発行(毎月)
法人全体の事業や地域の子育て関連情報を紹介。
- ・幼稚園・保育園ガイドの発行(年1回)
港北区および周辺地域の園情報を掲載

◆ウェブサイトの編集・制作・運営

・港北区子育て応援マップ【ココマップ】
〈港北区社会福祉協議会受託事業〉

2004年9月、子育て情報サイトを開設。子育て当事者らによる編集委員会を毎月開催。特集ページの作成、子育て関連イベント情報の提供など充実したサイト作りを運営。

<http://www.kouhokushakyo.or.jp/>

◆文部科学省「学びあい・支えあい」

地域活性化推進事業の実施
・菊名 WARA・びー実行委員会
小学生を中心に親子でまちの歴史を学び、交流を深めることを目指した地域交流事業。

法人事務局

●NPO法人

びーのびーの事務局

正会員・準会員の管理をはじめ、対外的な窓口として機能を果たす。

●NPO 法人子育てひろば

全国連絡協議会事務局
全国の子育てひろばの会員組織を研修事業・調査研究事業などでサポート。

編集後記

100号早いものです。場を構えて「開けること」だけで精一杯の大変だった開設当初。手書きでもいいね～と思っていた通信が、実はびーのびーのの運営を牽引していく 重要な役割を担ってきたのも事実です。この通信があったからこそ、より多様な人たちに出会い、知恵を出し合うステージにもなりました。「発信する」「カタチに残していく」ということは、いつの間にか、実は私たちの力や自信になっていて、意思を確認しあう貴重な場にもなりました。100号の節目において、読み手、作り手、送り手の皆様は…お疲れ様、そしておめでとう、最後にありがとうございます!! これからもよろしくです。(H)

びーのびーの通信

No.100

発行元 NPO法人びーのびーの 発行人 奥山千鶴子
＜編集＞伊集院純子 今井幸子 工藤百代 白瀧宏子
高橋直子 原美紀 牧谷泰子 山田弘美
＜イラスト＞ 生田衣美香 堤智沙 山田弘美

アトリエ創造の泉 3歳児教室生徒募集

- ・家庭からの自立
- ・お子様自身でリラックスし、遊びの中から表現するきっかけを
- ・造り出す喜び、自信を持って活動する楽しさの場の設定を考えています。
- ・同年代の中で自分でできる喜びを目的としています。

週1コース(金) 10:00～12:30 月謝 6500円
週2コース(月・木) 10:00～12:30 月謝 11000円
(他に入会金10000円。お弁当持参をお願いします)
横浜市港北区篠原北1-10-22 Tel 045-433-5206
指導 吉崎智子

伝言板

★だいいん 夢まつり開催★

社員と近隣住民の参加で行われる「だいいん 夢まつり」が開催されます。焼きそば、焼き鳥などの屋台やフリーマーケットが出店、餅つきや工作教室もおこなわれます。是非お越しください!

【日時】10月19日(日) 9時半から16時
夢工房 だいいんにて

家とは家族の幸せを生むところ
地域と「共に生きる」住宅会社



横浜市港北区新吉田東 8-35-1 Tel.045-542-5410